

# 2020年度(第9期)の活動報告



SAMURAI  
CLOUD

POWERED BY NIPPON CLOUD  
WORKING GROUP

2020年11月18日  
ニッポンクラウドワーキンググループ

## 名称

---

ニッポンクラウドワーキンググループ  
NIPPON Cloud Working Group (NCWG)

## 設立

---

2011年 11月1日 設立/活動開始

## 参加構成(2020年10月時点)

---

- メンバー企業 88社
- サムライクラウドサポーター 5人
- 協賛企業 20社

# 2020年度スローガン

## *Beyond the Clouds !*

『強みをシナジーにクラウドビジネスを昇華させる！』

ニッポンクラウドワーキンググループが**シナジーの場**となり、**参加者個々の強みを掛け合わせる**ことによる相乗効果で、クラウドの利便性の向上と日本のクラウドビジネスのマーケットの拡大、そこから新たな価値の創出に努める！

結果として、日本から発出するクラウドビジネスモデル＝サムライクラウドの価値(実)を高め、次なる状態(ステージ)へと昇華(結実)させる。

# ニッポンクラウドワーキンググループとしての 「クラウドサービス」の定義

『インターネットを介して利用  
する経済的な価値提供機能』

# 「サムライクラウド」の意義

- 日本から発出するクラウドビジネスモデルの構築を意義としての「サムライクラウド」
- IDやアプリケーション、UI、DATA連携などの技術的意義としての「サムライクラウド」

## 2020年度活動概要

1. 会合および部会開催
2. 部会活動を中心に『サムライクラウド』の具現化とその利活用を図る
3. 他団体とのより積極的な交流および相乗的な活動支援
4. セミナーおよび講演会の開催
5. 『協賛支援セミナー』の開催
6. 理事会および実行委員会の開催

# 2020年度「八周年報告会、特別講演会・パーティ」

【テーマ】「クラウドのこの10年、これからの10年」

【日 時】2019年11月8日(金)

【会 場】関東ITソフトウェア健保会館 大久保会議室

## 【特別講演会】

「クラウドのこの10年、これからの10年」

サムライクラウドサポーター

国際大学GLOCOM 客員研究員

NTTコミュニケーションズ株式会社 クラウド・エバンジェリスト

林 雅之 氏



# 2020年度「八周年報告会、特別講演会・パーティ」

【パネルディスカッション「クラウドのこれからの10年」】  
「クラウドのこの10年、これからの10年」  
モデレータ:サムライクラウドサポーター 林 雅之 氏



## パネリスト

GMOクラウド株式会社 増田 義弘 氏

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社 上野 貴也氏

株式会社IDCフロンティア 伴 忠章 氏

さくらインターネット株式会社 横田 真俊 氏

富士通株式会社 宮沢 健太 氏

NCWG 副会長 野元 恒志





# NCWG報告会及び設立八周年記念講演会・パーティ



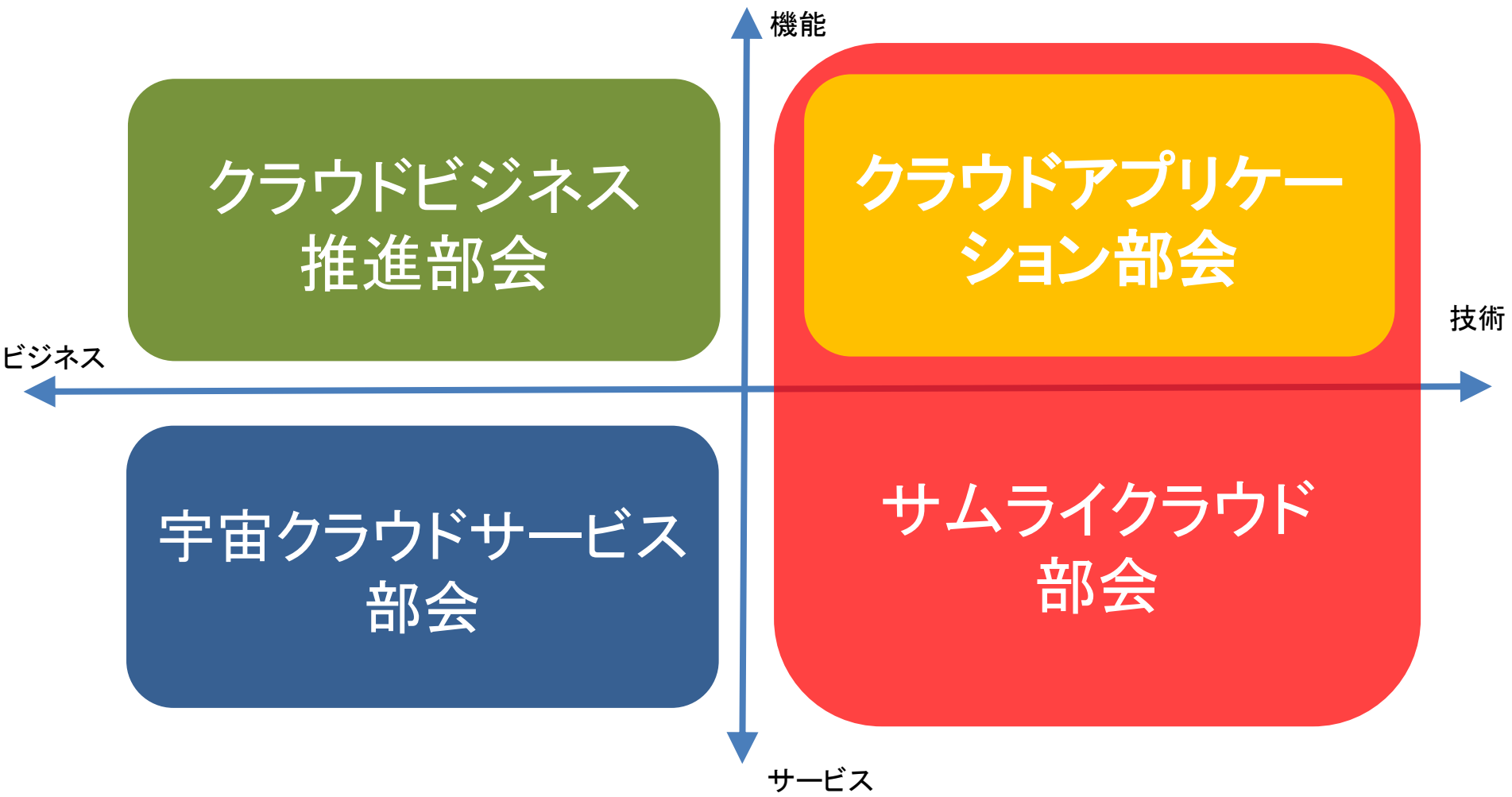
2019年11月8日 会場：関東ITソフトウェア健保会館

## 2020年度の会合開催概要

1. 第60回 2020年2月20日  
テーマ:「IoTの利活用を強みにクラウドビジネスを昇華させる！」  
講演者:株式会社ニッコム 小島 秀登 氏  
講演者:アールエスコンポーネンツ株式会社 宮原 裕人氏  
支援ご協賛:さくらインターネット株式会社
2. 第61回 2020年月7日16日(オンライン開催)  
テーマ:「ビジネスクライシスに対するクラウドサービスの有用性」  
講演者:株式会社ユニリタ 真木 卓爾 氏  
参加者による『ビジネスクライシスに対するクラウドサービスの有用性』についてのディスカッションを開催
3. 第62回 2020年9月18日(オンライン開催)  
テーマ:「コロナでクラウドビジネスはどう変わるか！」  
講演者:サムライクラウドサポーター 林 雅之 氏  
支援ご協賛:NTTコミュニケーションズ株式会社

# 部会活動

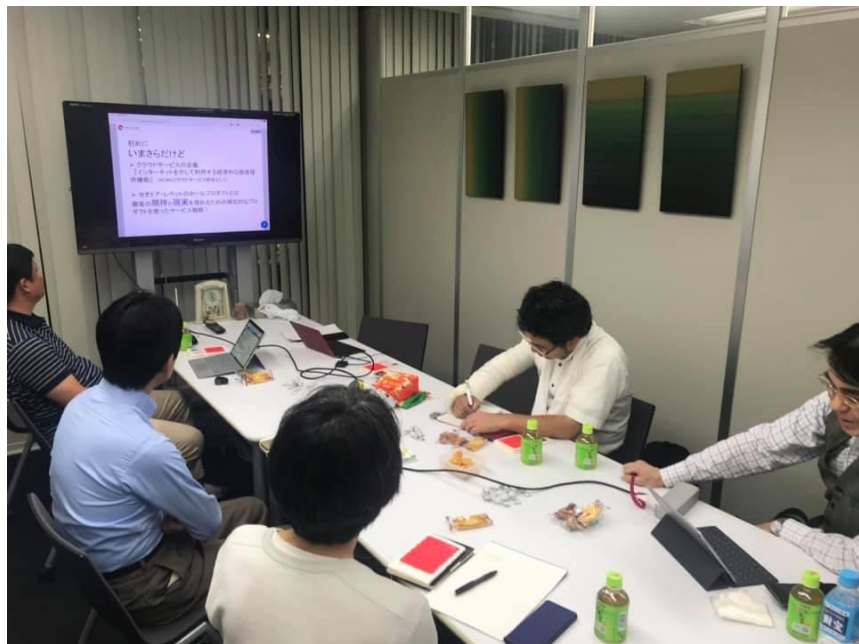
## ■部会のポジショニング



※「ビジネス」と「技術」、「機能」と「サービス」の二軸から会の活動範囲を表出

## 部会活動

サムライクラウド部会、クラウドアプリケーション部会、クラウドビジネス推進部会、宇宙クラウドサービス部会の4部会の活動を行いました。



## 『協業支援セミナー』『協賛支援セミナー』の開催支援

- **NCWGW協賛支援セミナーの実施（オンライン開催）**  
NCWGW協賛支援セミナーを、ご協賛企業のサービスやプロダクトをメンバーにより広く知ってもらうことにより協業を加速させることを目的として開催いたしました。

開催ご協賛企業：

1. 株式会社リンク（2020年8月25日）
2. カゴヤ・ジャパン株式会社、スターティア株式会社 共催  
（2020年9月8日）

- **協業支援**

NCWGWのWeb上で『協業のお知らせ』の協業事例を掲載しています。

## 他団体との交流

### 後援活動として

- 一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会主催の「JAIPA Cloud Conference 2020」への後援  
(2020年9月2日)
- NPO法人JASIPA主催  
「JASIPA 協業フェア2020」への後援  
(2020年10月27日)

## 理事会および実行委員会開催

会合等運営のための打合せのため、理事会、および実行委員会を毎月実施しております。

3月24日の理事会、実行委員会以降、オンラインでの開催。



# 2021年度(第10期)の活動計画



2020年11月18日  
ニッポンクラウドワーキンググループ報告会



# ニッポンクラウドワーキンググループ 2021年度スローガン

## *Beyond the Clouds !*

『クラウドケイパビリティをスパイラルア  
ップさせて、新たな価値を創る！』

## ➤ 2021年度の活動方針

今だからこそニッポンクラウドワーキンググループが、新しい日常での新たな価値を生み出す 気づき誘発のコミュニケーションHUB(ハブ) となり、参加者相互が、各社の強みをより深く知り合い、各社の強みを掛け合わせることで、各社それぞれが持つ「クラウドケイパビリティ」をスパイラルアップ(強相乗効果)させることを目的とする。

結果として クラウドサービスの利便性の向上 と日本のクラウドビジネスの マーケット拡大 に繋げ(結)、日本から発出するクラウドビジネスモデル＝サムライクラウドの質(実)を高め、スパイラルアップさせることで新たな価値創出(結実)を目指す。

## ケイパビリティ (Capability)

- 高い品質や迅速なスピードなどライバル企業よりも優位に立てる能力
- 企業全体が持つ組織的な能力
- **企業が得意とする能力**
- 企業成長の原動力となる組織的な強み能力
- 他社との差別化を図り持続的に競争に勝つ能力

## クラウドケイパビリティ

『企業が得意とするクラウド提供能力』

# ニッポンクラウドワーキンググループとしての 「クラウドサービス」の定義

『インターネットを介して利用  
する経済的な価値提供機能』

## ➤ 会の在り方として

ベンダーニュートラルな立ち位置だからこそ可能な活動によるグランドクラウド構想の促進およびクラウド全般のユーザー利用のための利便性の向上とクラウドの利活用の促進に努める。

さらに会の活動を通して、会員各社の“知らない”ことによるクラウドビジネスの機会損失の防止に努める。

また、会の規模については、質を高めながら引き続き緩やかな拡大を目指す。

# サムライクラウド

- ✓ 日本から発出するクラウドビジネスモデルの構築を意義としての「サムライクラウド」
- ✓ IDやアプリケーション、UI、DATA連携などの日本から発出できる技術的意義としての「サムライクラウド」

# グラントクラウド構想

- ✓ サムライクラウドの理念を基軸に、ニュートラルな立ち位置から、あまねくクラウドサービスの技術的ビジネス的連携を実現し、全てのクラウドサービスを統合的に利用可能とすることで、あらゆる利用者にとって高い価値と利便性をもたらす

## ➤ 2021年度役員および理事

- 会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)  
副会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)  
副会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)  
理事 尾鷲彰一(株式会社オープンウェブ)  
監事 大澤武史(株式会社クリエイトラボ)  
事務局 尾鷲彰一(株式会社オープンウェブ)

## ➤ 各部会役員

### ■サムライクラウド部会

部会長 野元恒志(有限会社ディアイピィ)

### ■クラウドアプリケーション部会

部会長 尾鷲彰一(株式会社オープンウェブ)

### ■クラウドビジネス推進部会

部会長 藤田浩之(有限会社シェルンコアテクノロジー)

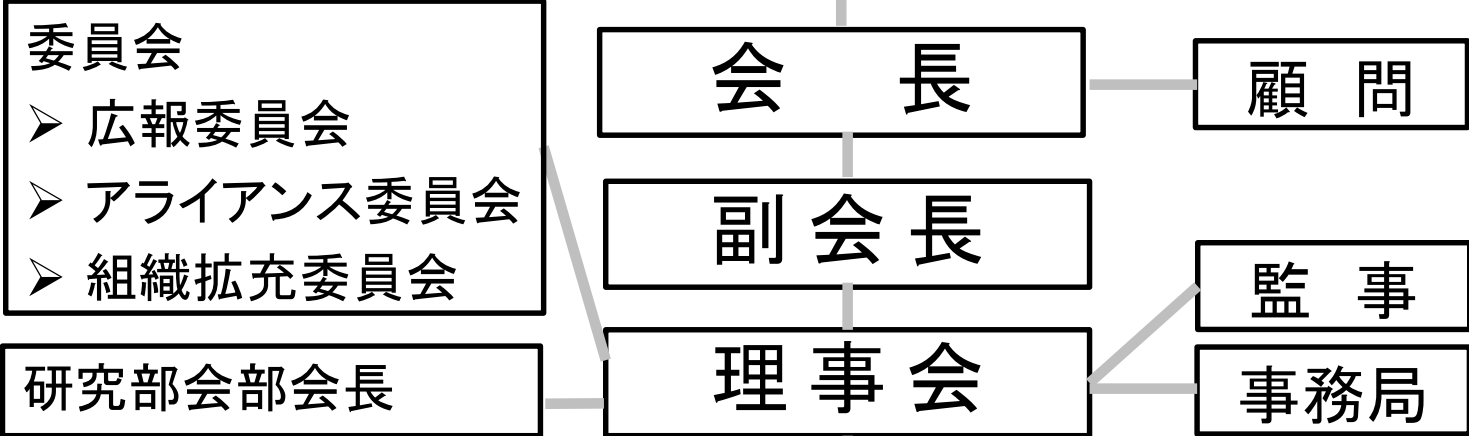
### ■宇宙クラウドサービス部会

部会長 小堀吉伸(株式会社北斗システムジャパン)



NCWG組織図

総会



実行委員会  
(メンバー・協賛・サポーター)



株式会社アルティネット	宮原 哲也
株式会社エイチ・ピー・エス	三上 智親
株式会社オープンウェブ	尾鷲 彰一/鈴木 淳史
株式会社クオリティア	佐々木 泰
株式会社クリエイトラボ	大澤 武史/内田 龍
	横手 広樹/水木真一
有限会社シェルンコアテクノロジー	藤田 浩之
株式会社DTS	木村 翠
有限会社ディアイピィ	野元 恒志
株式会社ドヴァ	井口 和彦
株式会社北斗システムジャパン	小堀 吉伸

10社(14人)

# 2021年度活動概要

1. 新しい日常に対応した、会合および部会開催、ならびに参加者各社の紹介セミナーの実施、およびクラウドビジネスイベントの開催
2. 部会活動を中心に『サムライクラウド』の具現化とその利活用を図る
3. 『協業支援セミナー』『協賛支援セミナー』の開催支援
4. 録画配信など、ITコミュニケーションインフラを活用した、場所・時間にとらわれない、気づきに繋がる積極的な情報発信
5. 他団体との積極的な交流による活動支援、および、クラウドの利活用を核に、異業種団体とのより積極的な交流による活動支援
6. サムライクラウドサポーターの拡充
7. アクティブメンバーシップの拡充
8. 理事会および実行委員会の開催

## ➤ 2021年度会合開催について

- 新たな日常での、メンバー及びご協賛の協業によるクラウドビジネスの促進のための場創りとして、状況に応じたオンライン／リアル開催での会合および講演会等の活動を年間5回以上開催予定
- 各社の「強み」を積極的に表出させ、共有する
- 会合を始めとしたイベントでは、単方向の情報提供だけでなく、双方向のコミュニケーションの場を積極的に企画・提供する

➤ 2021年度部会活動について  
オンラインも活用し各部会とも定期的な部会の開催

1. サムライクラウド部会
2. クラウドアプリケーション部会
3. クラウドビジネス推進部会
4. 宇宙クラウドサービス部会

部会長連絡会や共同部会開催で密に連携を図り、  
より効率的に成果がアウトプットできる活動を行う。

# *Beyond the Clouds !*

『クラウドケイパビリティをスパイラルアップさせて、新たな価値を創る！』



SAMURAI  
CLOUD

POWERED BY NIPPON CLOUD  
WORKING GROUP

2021

ニッポンクラウドワーキンググループ

# サムライクラウド部会 活動報告及び活動計画

部会長  
野元 恒志

# 2020年度の部内発表・主な議題

## <議論>

- 大規模障害に関して
- ソフトウェア開発生産性に関して
- プログラマブルネットワークに関して
- ZTA(ゼロトラストアーキテクチャー)
- hive-builderによるdockerコンテナの自動環境構築プログラム
- dockerと仮想NICとDHCPによる問題
- オンライン契約サービスに関して
- 端末認証

## 活動実績

サムライクラウド部会 月一回 全11回開催



# サムライクラウド2021年度の活動

- SAML、OpenSocialをベースとしたビジネス活用のための研究開発の続行
- ZTA標準化の研究を行い、**提言の準備**
- SAML、Oauthなどの認証基盤の具体的利用例や、サービスに関する**の評価議論**
- 将来の認証技術に関する**の最新テクノロジー評価**

# クラウドアプリケーション部会 活動報告及び活動計画

部会長  
尾鷲 彰一

# クラウドアプリケーション部会について

昨今では、クラウドの利用は、クラウドサービスとスマートデバイスや、他のハードウェアとの連携など、いわゆるIoT、AIへと発展しています。

例えば、水位の閾値を超えたらLINEで送るなど簡単に連携できるようになりました。

クラウドアプリケーション部会では、そういったクラウド関連の最新の技術の調査や検証から、実際にアプリケーションを開発するまでを行い、そこで得たノウハウを参加メンバー各社、また会合での成果発表などを通し、NCWGWに参加しているみなさん各社のサービスに活用できるアウトプットを提供していきます。

# クラウドアプリケーション部会 2020年度活動実績

## 【テーマ】

IoTを本気(マジ)で使ってみる！

## 【活動内容】

- ・実際にIoTをフィールドに設置し検証を実施する

## 【活動結果】

- ・年1回開催しました。
- ・前年度までの技術的なおさらいを行いました。
- ・今年度の認識合わせを行いました。

※実際にデバイスを用いでの活動のため、集合しないと活動できず、コロナの影響で1回しか開催できませんでした。

# 転倒ます雨量計で、雨量データをセンシング



# クラウドアプリケーション部会 2020年度活動実績

ディーアイ・ネクストさんに会場を提供いただき、1回開催いたしました。

**第23回 2月25日 活動内容についての認識合わせ**  
2020年度の活動内容について、認識合わせをいたしました。

※実際にデバイスを用いでの活動のため、集合しないと活動できず、コロナの影響で1回しか開催できませんでした。



# クラウドアプリケーション部会 2021年度活動計画

## 【テーマ】

続！IoTを本気(マジ)で使ってみる！

## 【活動内容】

- ・転倒ます雨量センサー、雷センサーを設置し、ゲリラ豪雨を予測する。
- ・梅雨時期から、夏場にかけて、データを取得し検証予定

## 【活動回数】

- ・年4回予定  
※3月、5月、6月、9月を予定しています。

※今年度も引き続きコロナの影響でオンラインでの活動が難しい場合、活動内容を変更する可能性があります。

# クラウドビジネス推進部会 活動報告及び活動計画

部会長  
藤田 浩之



# ■ 活動指針 & 活動内容

## <活動指針>

1. クラウドを利活用してビジネスに繋げるための、リアルな情報で語り合う場を提供する
2. 様々な方法で、実際のクラウドビジネス創出を促進する
3. “ニッポン”から発出するクラウドビジネス(サムライクラウド)のさらなる発展に繋げる

## <活動内容>

- クラウドビジネスに役立つ勉強会の開催  
etc.

# クラウドビジネス推進部会 2020年度報告

- 宇宙クラウドサービス部会と共同で部会開催
  - 2019年11月 X-NIHONBASHI (クロスニホンバシ)
  - 2020年 3月 X-NIHONBASHI (クロスニホンバシ)

宇宙ビジネスに実際に携わる方々との交流を通じて宇宙ビジネスへの理解をより深めるとともに、クラウドビジネスと宇宙ビジネスを繋げるための思考する良い機会となりました。

# クラウドビジネス推進部会 2021年度予定

今期は、『クラウドビジネスの本質を掴む！』ことを目的に、各回テーマを変えての勉強会の開催を予定しています。

開催は、オンラインを主体とします。  
是非ご参加ください。

# 宇宙クラウドサービス部会 活動報告及び活動計画

部会長  
小堀 吉伸

# 宇宙クラウドサービス部会

これまでのクラウドサービス部会の考え方を踏襲しながら、新分野の「宇宙クラウドサービスビジネス」へ視線を向け、ビジネスモデル化を図る。

# 「宇宙ビジネス」のイメージとして

- 宇宙＝ロケットのイメージが強い
- 宇宙ビジネスへの参入ハードルの高さを感ずる
- 宇宙自体の実感が持てない 等

実感がないことが、参入障壁になっているのではないだろうか！！

# 宇宙ビジネスへの 参入ハードルのイメージ払拭

通常のビジネス活動では、つかみ  
づらい「宇宙ビジネス感」をつか  
むことを部会活動の目的に！

具体的には、  
従来のクラウドサービス部会の考え  
方を踏襲しながら宇宙ビジネスに関  
わられている方々やアカデミックな方  
々、研究者の方々など実務に即した  
方々との交流を行い、「宇宙クラウド  
サービス」といった新しい分野のクラ  
ウドサービスを実ビジネスに仕上げ  
て行くことが目的



# 宇宙クラウドサービス部会開催

宇宙ビジネス拠点 X-NIHONBASHI(クロスニホンバシ)にて開催された「宇宙好きが集まる！ ～黒熊亭～」へ参加し、実際に宇宙ビジネスに関わる様々な方々とリアルな宇宙ビジネスに関する情報交換の実施



# 2021年度視察予定

千葉工業大学東京スカイツリータウン®キャンパス「はやぶさ2」プロジェクトなどの視察



以上、各種報告となります。  
10年目の活動にも積極的に  
ご参加ください。

休憩後に講演会となりますので  
**密**を避けてご休憩ください  
よろしくお願ひします。